

CMIC REPORT 2013

シミックレポート 2013

シミックホールディングス株式会社 第29期 中間ビジネスレポート
2012.10.1-2013.3.31

中期計画達成に向けて

CONTENTS

- 01 CEO中村和男メッセージ
- 02 中期計画の進捗
- 03 特集1 対談
- 06 特集2 IPD事業の進展
- 07 当第2四半期業績のご報告
- 09 事業別概況
- 11 連結財務諸表
- 13 2013年9月期の見通し／株主の皆様の声
- 14 株式の状況／会社概要
- 巻末 株主メモ／healthクリックの健康コラム
単元未満株式をお持ちの株主様へ



CMIC

Pharmaceutical Value Creator

CEO中村和男メッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
医薬品業界におきましては、薬価改定や後発医薬品の普及促進等を通じた医療費抑制策の推進、主力製品の特許切れ、世界的な新薬の承認審査の厳格化等の影響により厳しい事業環境が続いております。一方、当社グループが属する医薬品の開発、製造、営業を支援する業界におきましては、各業務の迅速化および効率化を目指したアウトソーシングニーズの拡大を背景として、市場規模が緩やかに拡大する一方、企業合併や異業種からの新規参入等、業界再編も進みつつあります。

このような環境下において、当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開し、CRO (医薬品開発支援) 事業、CMO (医薬品製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業、IPD (知的財産開発) 事業において、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。また、今後はこれらの経験を活かしてさらに広く健康を支える事業の確立を目指し、ヘルスケア分野のリーディングカンパニーとなるべく、ビジネスを展開してまいります。

今後も常に新たな挑戦を行い、事業の収益性と生産性の向上を通じて株主の皆様への還元に努めてまいりますので、どうぞ変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中村和男
代表取締役会長兼社長 / CEO

〈用語説明〉シミックグループのビジネスモデルと事業名

- PVC** (Pharmaceutical Value Creator) 製薬企業の価値最大化を支援するシミックグループ独自のビジネスモデル
- CRO** (Contract Research Organization : 医薬品開発支援) 製薬企業などに対し、医薬品の開発に関するサービスを提供する事業
- CMO** (Contract Manufacturing Organization : 医薬品製造支援) 製薬企業などから医薬品などの製造および分析化学サービスに係る業務を受託する事業
- CSO** (Contract Sales Organization : 医薬品営業支援) 製薬企業などに対し、MR(医薬情報担当者)派遣など医薬品の営業・マーケティングを支援する事業
- SMO** (Site Management Organization : 治験施設支援) 医療機関で臨床試験参加者(被験者)のケアや試験参加への同意取得補助など、治験実施をサポートする業務などを受託する事業
- IPD** (Intellectual Property Development : 知的財産開発) 診断薬や患者数の少ない疾病の治療薬(希少疾病用医薬品、オーファンドラッグとも言う)をシミックグループが自社で開発する事業

中期計画の進捗

PMS(製造販売後調査)事業の強化

医薬品の市販後の品質、有効性、安全性の確保および適正な使用方法の確立のため、PMSの市場ニーズは高まる傾向にあります。シミックグループでは、同事業の成長促進を、中期計画における重点施策の一つとして位置づけております。

そこで、当社が新規に設立したシミックPMS(株)が(株)日本アルトマークよりCRO事業を譲受けし、2013年4月1日よりPMS事業強化に向けて営業を開始いたしました。

(株)日本アルトマークのCRO事業は、PMSの豊富な経験と

業界トップクラスの受託実績があります。また、1997年から多剤・多企業共同調査形式であるHRD(HIV感染症治療薬)を継続受託しており、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の再審査適合性調査の経験を持っています。

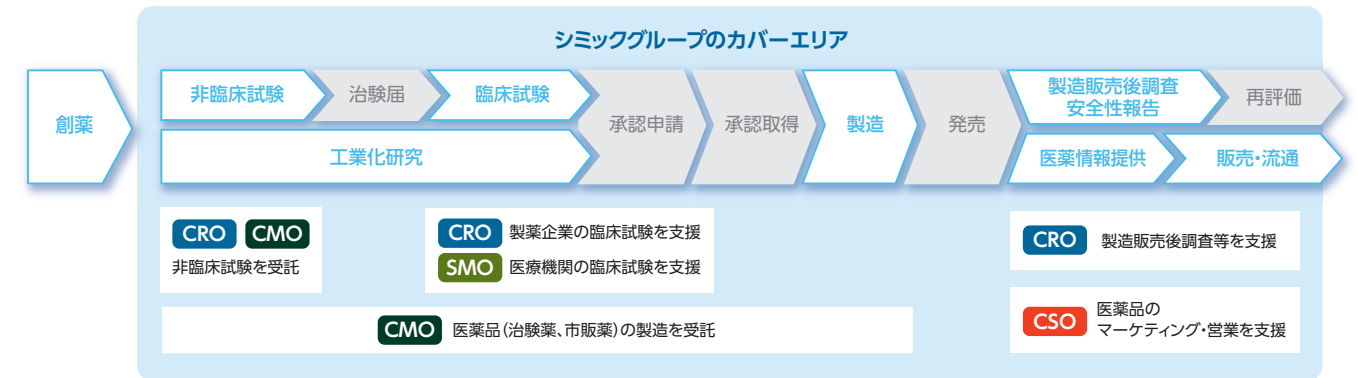
シミックPMS(株)は、シミックグループ全体の機能やノウハウ・経験を融合し、PMSに関する事前準備段階から当局対応までを含めた一貫したサービスを提供し、顧客満足度の最大化と更なる事業成長を目指します。

シミックPMS株式会社の特徴

治験からPMSまでのスムーズな業務支援体制を構築

2013年4月から開始されたRMPに対応

多剤・多企業共同調査のノウハウを活用



〈用語説明〉

- PMS** (Post Marketing Surveillance) 医薬品等の市販後に品質、有効性および安全性の確保を図るための調査
- 再審査適合性調査** PMSの適正な実施と調査資料の信頼性の確保を図るため、「医薬品の製造販売後の調査および試験の実施の基準」の遵守状況を調査すること
- HRD** (HIV Related Drugs) HIV感染症治療薬の市販後における使用実態、安全性に関する調査
- RMP** (Risk Management Plan) 新医薬品とパイオ後続品の承認申請時に製薬企業に提出が義務付けられた「医薬品リスク管理計画」



特別対談

個人の健康(パーソナルヘルスバリュー)を考える

板倉弘重

シミックグループ サイエнтиフィック・アドバイザー
エミリオ森口クリニック院長 医学博士

中村和男

シミックホールディングス(株) 代表取締役会長兼社長/CEO
薬学博士

エミリオ森口クリニック院長の板倉弘重先生をお迎えし、ヘルスケアビジネスの展開において鍵となる医療の未来についてお話を伺いました。

エミリオ森口クリニック

中村 エミリオ森口クリニックは、板倉先生の先輩であり私の恩師でもある、動脈硬化分野で世界的に有名な故 五島雄一郎先生のお弟子さんで、リオ・グランデ・ド・スール連邦大学医学部教授(ブラジル) 森口秀幸先生のお名前を冠したクリニックですね。患者さんが本当に必要としている医

療を提供できるようなクリニックを目指した、一言で言えば、患者さんのためのクリニックです。今の日本の保険制度の中ではカバーできない患者さん、言い方を変えると医療難民になってしまう患者さんにとって、何を変えていかなければならないのか、医療の現場にいらっしゃる板倉先生がお気づきになっていることをお聞かせください。

板倉 森口先生と知り合った頃、森口先生のご尊父はブラジル日系人の健康に貢献されて、その功績はブラジルのシュバイツァーと言われるくらい称賛されていました。当時のブラジルでは、自分の健康状態を理解していない日系人の方が非常に多くて、早期からそれこそ40歳の若さでも心筋梗塞などを発症し亡くなる方が多かったのです。

そこで、森口先生のご尊父は、診療はもちろんのこと健康の教育から動機付けまで行われました。

森口先生はそれを引き継がれて、病気になってから病院へ行く、あるいは倒れてから治療をするのではなく、もっと早い段階から対応しようということに取り組みされています。

私も、手の施しようがないような状態の方に、何とかならないでしょうかと言われる時、本当に自分の無力さを感じます。いかに治療が可能な状態で疾患を見つけ出すか、そしてもっと早期に予防的な段階から見つけることが大事です。

個人が持って生まれた体質と環境によって状態は変わってくるので、一般的な健康診断では見つけられない疾患もあります。健康診断での平均的なレベル値だけではなく、個人の変化を把握して総合的にアプローチする方法をもっと考えなければならぬと思っています。

PHVC(パーソナルヘルスバリュークリエイター)

中村 それは従来に無いアプローチですね。グループ会社の(株)ヘルスクリックでは10年前からWEBやコールセンターを使って健康増進・予防を目的としたディジーズマネジメント(疾病管理)のサポートを行ってきましたが、先生方のそのような考えを実現させるために、シミックグループができることに取り組みたいと思っています。

個人の健康、つまりパーソナルヘルスバリューとは何かということを考え、それをサポートするビジネスモデルを目指したいと考えています。

板倉 健康、ヘルスバリューという概念は、どういう状態を

指すのか、病気ではないという事なのか。私は、何らかの病気を持っていても、日常生活に支障がなく、やりたいことができれば、全然構わないのではないかと、その状態を健康と言ってもよいのではないかと考えています。病気を治すための治療に大きな力を加えなくても、病気による大きな障害が起きなければ、活動力が上がればいいのではないかと。例えば、スポーツ選手の場合、ベスト記録を取るために努力しているので、それを助けてあげられるような健康を考えますね。普段働いている人ならば、病気を持っていても日常の仕事ややりたいことができるようにしてあげる、そのやりたいことがダメになるような障害を起こさないことを考えてあげる。それがパーソナルヘルスバリューなのではないかと思うのです。

患者さん一人ひとりの健康と幸せのために

中村 板倉先生や名医と言われる先生方は、各人の価値観やその背景をわかった上で患者さんと向き合って話をしてくれるのだと思います。エビデンスをベースにプラスアルファで対応されているということです。

板倉 糖尿病を例にしますと、かつては糖尿病と診断されると「糖分を控えなさい」と言われましたが、それだけでは治療効果があがらなかった。インスリン療法が出来てからはカロリーを抑えなさいとなり、今でもカロリー制限が主流ですが、カロリーを生み出す元になっている糖質・脂質・たんぱく質のうち脂質が問題であることがわかってきました。治療方法は少しずつ変わっていきます。その成分を摂ったときの体内のレスポンスを見ながら考えていきます。

そして今では膵臓β細胞から出るインスリンの出方に影響を及ぼす栄養因子は何かを考えながら総合的に診ていくことが必要だといわれるようになってきました。単純にカロリーを抑え、体重を減らせばいいのではなく、内臓機能を考えた治療が大切だという考え方に変わってきました。漢方医も含めて、名医というのは総合的に診た上で治療方針を決めていくのだと思います。

中村 今、先生がおっしゃった「総合的に診て」というのは、あらゆる健康情報と人生体験も含めて考えてみると、なかなか患者さんに対してパーソナルヘルスバリューを提供できなかったということですね。

板倉 そうです。患者さんが医師に対して、自分の体をわかってくれる、自分の聞きたいこと、やりたいことや望みをこのお医者さんは本当にわかってくれる、という信頼感を持った上でようやく一緒になって考えることができるのだと思います。

中村 総合的な診断ということ言えば、支援するためのアプローチ方法としてIT技術、最新の遺伝子情報、そしてバイオマーカーがあります。これらを駆使することによって、膨大な情報を医者や患者さんに対して出せるだけで

なく瞬時のコミュニケーションが出来るようになります。それをサードパーティとして支えるのがヘルスクリックだと思っています。

板倉 一個人としての能力は非常に限られています。私は動脈硬化を中心に研究をしていますが、人を診る場合は、その人が動脈硬化になりやすい体質かということだけでなく、癌だとか神経疾患だとかいろいろなリスクに対する感度も必要となります。名医とされている方がどういう視点で何を考えているのか、IT技術などを使い、もっと総合的に判断できるシステムができればいいと思っています。自分の専門だけでなく、患者さんのためにもっと総合的に考えられるように、それぞれの専門家や目指す先生方の考え方を共有できるような仕組みがあればいいと。今はIT技術も進化しているので、そのチャンスではないかと思っています。何が関係しているかは人によって違いますが、それを見出してシステムとして構築できれば、日本全国の患者さんが幸せになれます。

中村 ヘルスクリックとエミリオ森クリニックは様々なことにチャレンジしていけるといいますので、これからもどうぞよろしくお願いします。本日はありがとうございました。

板倉弘重

1961年東京大学大学院医学研究科博士課程終了。同大学医学部講師を経て、1996年国立健康・栄養研究所臨床栄養部長、茨城キリスト教大学生活科学部食物健康科学科教授、日本臨床栄養学会理事長、日本動脈硬化学会評議員名誉会員等を歴任され、2009年度国際栄養学連合(IUNS)のFellowに認定(栄養学研究分野で顕著な貢献をした世界の研究者10名の1人)。2011年エミリオ森クリニック院長、2013年医療法人社団エミリオ森理事長就任。シミックグループ サイエントフィック・アドバイザー。



特集2 IPD事業の進展

2013年1月17日

オーファンパシフィック社で、 ブフェニール®の販売を 開始しました

尿素サイクル異常症用の薬剤として販売開始した
オーファンドラッグ「ブフェニール®」。シミックグループとして初めて
販売する医薬品です。発売間もないですが、その状況をご報告します。

尿素サイクル異常症とは

尿素サイクル異常症は、出生時46,000人に一人が乳幼児期に発症するとされている先天代謝異常症で、死亡に至ることもある重篤な疾患です。日本国内での推定患者数は約200人です。

開発の経緯

ブフェニール®は海外では尿素サイクル異常症の標準的治療薬となっていますが、日本ではこれまで医薬品として認可されていなかったため、必要な場合には海外から個人輸入されていました。保険適用外です。

必要性が高いにもかかわらず、開発が見送られてきたオーファンドラッグでしたが、当社がブフェニール®の国内製造承認を取得し、グループの力を合わせ2013年1月に販売開始となりました。



製品名	ブフェニール® 錠500mg、同顆粒94%
一般名	フェニル酪酸ナトリウム
効能・効果	尿素サイクル異常症

「今すぐ薬が欲しい!」

12月初旬、ある病院から「今すぐ薬が欲しい!」との緊急連絡が入りました。患者さんは生後7日の乳児でした。

生後7日での発症は緊急度が極めて高く、もはや一刻の猶予も許されない深刻な状況でしたが、準備を前倒しで進めていたことにより、すぐに病院へ納品。病院では薬の到着を待ち構えていて、到着の数時間後には患者さんに投与することができました。

シミックグループは、こうした薬を待ち望む患者さんにオーファンドラッグをお届けすることで、社会に貢献してまいります。

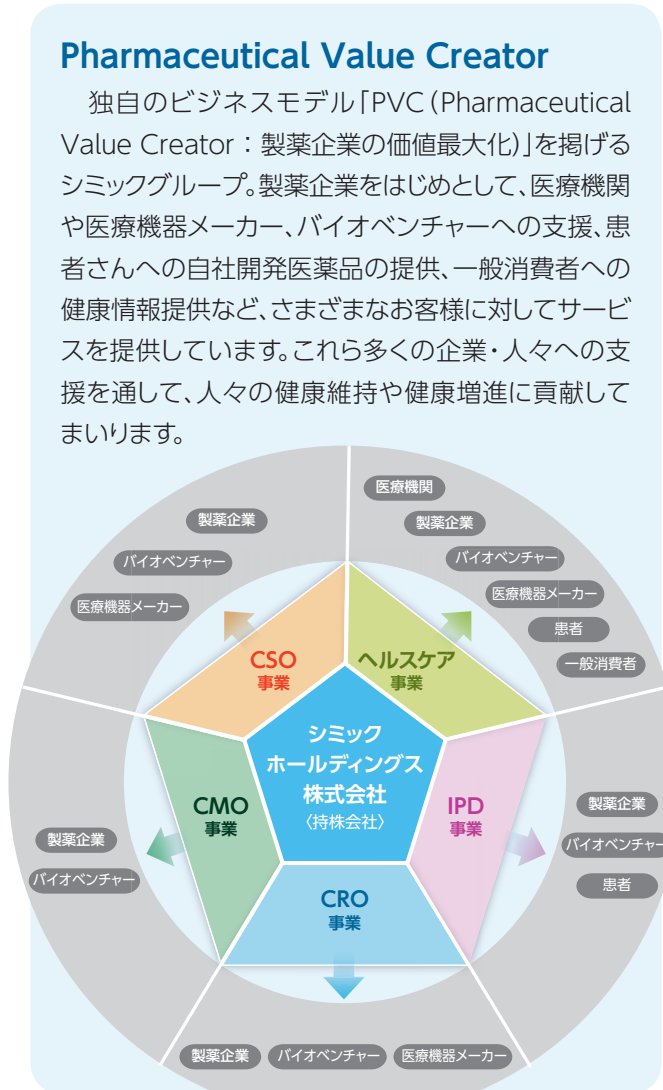
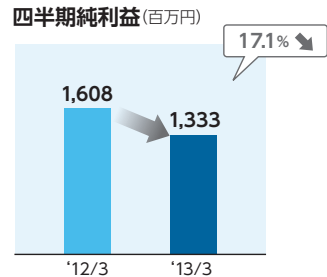
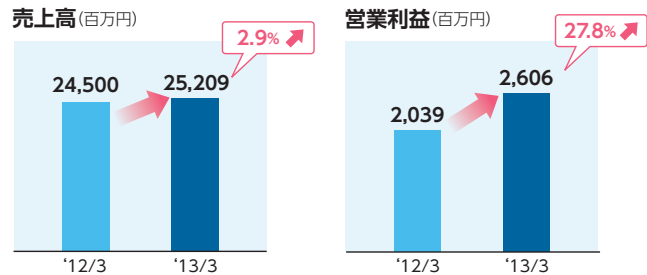
オーファンドラッグとは?

患者数が少なく*治療法が確立されていない重篤な病気のための医薬品
*日本では対象患者数50,000人未満

中期計画に基づき、既存事業の強化と新規施策に取り組みました

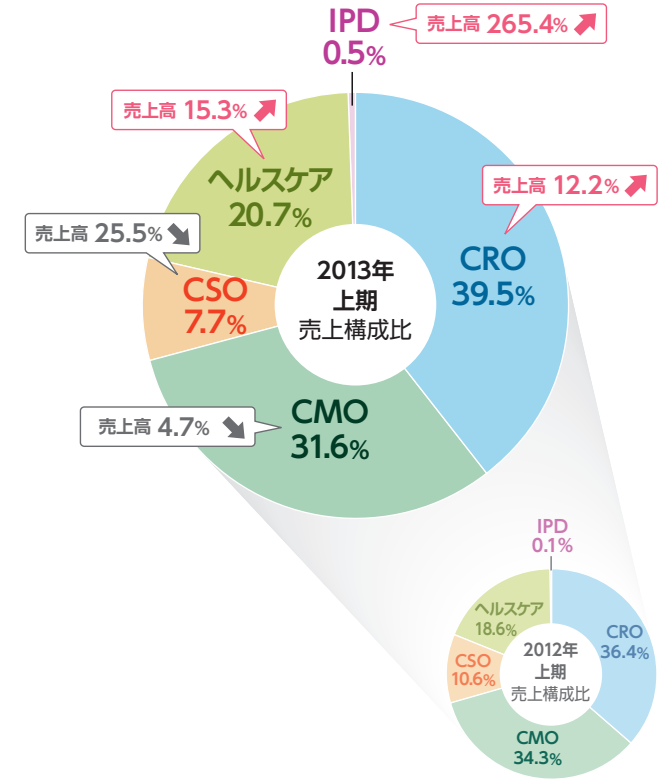
当第2四半期連結累計期間においては、2012年11月13日発表の中期計画に基づき、各事業において既存事業の強化および新規施策に取り組んでおります。業績につきましては、CRO事業を中心に堅調に推移したことなどにより、売上高は25,209百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は2,606百万円（同27.8%増）、経常利益は2,562百万円（同27.2%増）となりました。

四半期純利益は、2012年3月に実施した完全子会社同士の合併に伴う税金費用の減少という前年同期の一時的要因がなくなったことなどにより、1,333百万円（同17.1%減）となりました。



主な取り組み

- CRO事業の強化**
2013年2月にPMS関連業務の強化を目的として(株)日本アルトマークのCRO事業譲受を基本合意し、2013年4月に新たに設立したシミックPMS(株)に同事業の譲受を行い、業務を開始しました。
- CSO事業の新サービス**
2012年11月に欧州最大級のCSO[Ashfield Group]と業務提携し、新たなサービスモデルの提供を開始しました。
- IPD事業の進展**
2012年12月にL-FABP診断薬を欧州で販売開始、自社開発のオーファンドラッグについて2013年1月に「ブフェニール®」の発売開始、2013年3月に「ヘミン」の承認を取得しました。
- J-ESOPの導入**
2012年11月に優秀人材の採用、育成を図るための中長期インセンティブプランとして、株式給付信託を導入しました。



2013年トピックス



事業別概況

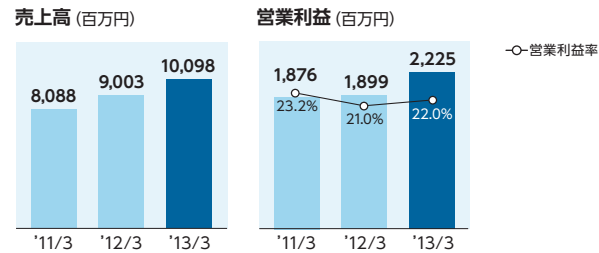
CRO (医薬品開発支援) 事業

主に製薬企業に対し医薬品開発(臨床試験など)を支援する事業

売上高 モニタリング業務において新規受注および既存案件が順調に進捗したことなどにより、売上高が前年同期を上回りました。

営業利益 モニタリング業務を中心に全般的に業務が順調に進捗したこと、非臨床業務においてプロジェクトが前倒しで進捗し採算が改善したことなどにより、前年同期を上回りました。

Topics 製造販売後調査や安全性業務受託を行うシミックPMS(株)を設立しました。



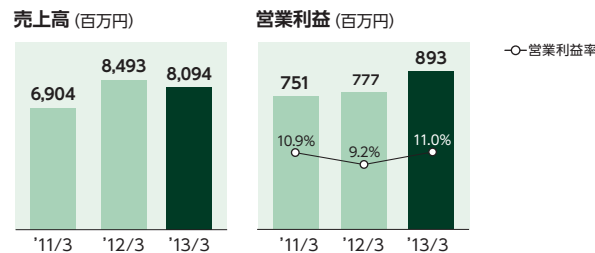
CMO (医薬品製造支援) 事業

主に製薬企業から医薬品などの分析・製造業務を受託する事業

売上高 シミックCMO(株)の一部製品の出荷時期が下期に変更になったことなどにより売上高が前年同期を下回りました。

営業利益 製造費用の圧縮に伴う原価率の改善などにより、前年同期を上回りました。

Topics 研究機能の集約および試験処理能力向上のため、(株)応用医学研究所に新研究所を、また新規受託に対応するため、シミックCMO富山(株)に新工場を建設しています。



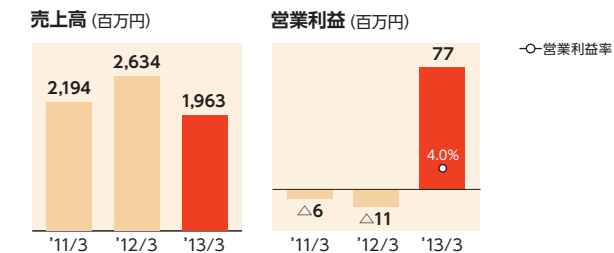
CSO (医薬品営業支援) 事業

主に医薬品の営業・マーケティングを支援する事業

売上高 MR派遣業務の売上高は増加する一方、2012年7月よりエムディエス(株)(現エムディエス・シーエムジー(株))が持分法適用会社となったため、CSO事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

営業利益 MR派遣業務の採算改善により営業黒字を確保しました。

Topics ヨーロッパ最大級のCSO「Ashfield Group」の日本法人であるAshfield(株)と提携し、日本における新たなサービスモデルの提供を開始しました。



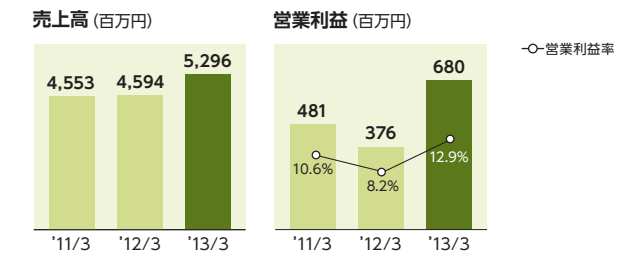
ヘルスケア事業

医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業

売上高 主力のSMO業務や医薬・医療に特化した一般派遣業務の売上が増加したことなどにより、売上高が前年同期を大幅に上回りました。

営業利益 SMO業務のプロジェクトが順調に進捗したことなどにより、営業利益も前年同期を大幅に上回りました。

Topics 最大手SMO(治験施設支援機関)として、大学病院、クリニック等をあわせた提携施設数は2,000施設を超えました。



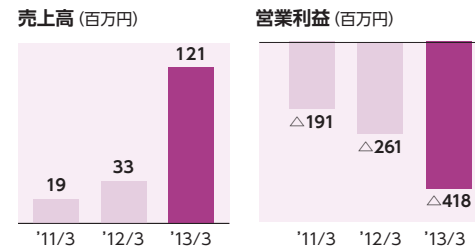
IPD (知的財産開発) 事業

自社にて知的財産を開発する業務

売上高 L-FABP診断薬の欧州販売開始およびオーファンドラッグ「ブフェニール®」の販売開始により、売上高が増加しました。

営業利益 オーファンドラッグの研究開発費および(株)オーファンパンフィックにおける販売立ち上げにかかる費用などにより、営業損失を計上しています。

Topics オーファンドラッグ「ヘミン」が製造販売承認を取得しました。



CSO Ashfieldと業務提携

ヨーロッパ最大手のCSOであるAshfield Groupの日本法人であるAshfield(株)と提携し、既存のMR派遣や業務受託にとらわれない短時間勤務MRや、実際の顧客である医師がMRに対しフィードバックを行う研修プログラムなど、日本における新たなサービスモデルの提供を開始いたしました。



IPD L-FABP診断薬を欧州で販売開始

当社が腎疾患の診断を目的として開発した体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット(販売名:レナプロ®L-FABPテスト)」について、2012年10月にヨーロッパ欧州連合の安全規格に製品が適合していることを示す「CEマーク」を取得し、同年12月より欧州販売名「RENISCHEM®」としてデンマークでの販売を開始いたしました。



※2012年1月の持株会社制への移行に伴い、当社(持株会社)にかかる全社費用を各事業に配分しない方法に変更しています。前期以前の情報は、当該変更後の算定方法に基づき作成しています。

四半期 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前期 2012年9月30日現在	当第2四半期 2013年3月31日現在	増減額
資産の部			
流動資産	24,486	26,417	1,931
固定資産	17,779	18,615	836
有形固定資産	12,254	12,921	667
無形固定資産	2,166	2,024	△142
投資その他の資産	3,357	3,669	312
資産合計	42,265	45,032	2,767
負債の部			
流動負債	14,581	14,696	115
固定負債	8,980	10,612	1,632
負債合計	23,561	25,308	1,747
純資産の部			
株主資本	18,814	19,581	767
その他の包括利益累計額	△ 226	82	308
少数株主持分	114	59	△55
純資産合計	18,703	19,724	1,021
負債純資産合計	42,265	45,032	2,767

ポイント 1 資産合計

総資産は前年度末に比べ28億円増加し、450億円となりました。主に、現預金の増加21億円、CMO事業などにおける設備投資による有形固定資産の増加約7億円などによります。

ポイント 2 負債合計

負債は、前年度末に比べ約17億円増加し、253億円となりました。主に長期借入金等の有利子負債の増加などによります。

ポイント 3 純資産合計

純資産は、利益剰余金の増加などにより10億円増加し197億円となりました。

四半期 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 2011年10月1日から 2012年3月31日まで	当第2四半期 2012年10月1日から 2013年3月31日まで	増減額
売上高	24,500	25,209	709
売上原価	18,786	18,783	△3
売上総利益	5,714	6,426	712
販売費および一般管理費	3,675	3,819	144
営業利益	2,039	2,606	567
営業外収益	106	180	74
営業外費用	130	225	95
経常利益	2,014	2,562	548
特別利益	3	0	△3
特別損失	10	9	△1
税金等調整前当期純利益	2,007	2,553	546
法人税、住民税および事業税	554	1,199	645
法人税等調整額	△ 150	77	227
少数株主損失	△ 4	△ 58	△54
四半期純利益	1,608	1,333	△275

ポイント 4 売上高

CRO事業・ヘルスケア事業の売上高が伸長し、前年同期比3%増加となりました。CSO連結子会社1社が今期より持分法適用会社となったことによる影響を除くと連結全体では実質6.3%増加となります。

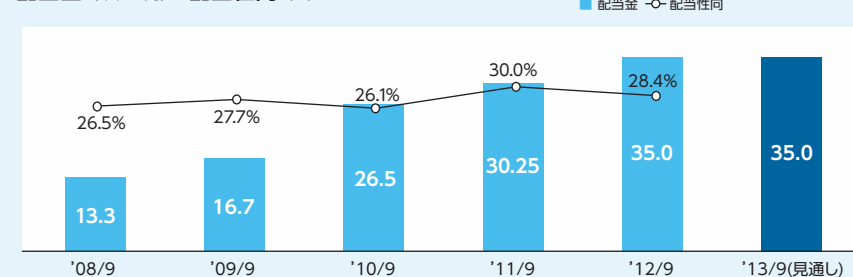
ポイント 5 営業利益

営業利益は26億円と前年同期比28%増加となりました。CRO、CMO、CSO、ヘルスケアの各事業の営業利益が増加しました。

ポイント 6 四半期純利益

四半期純利益は、昨年3月に実施した完全子会社同士の合併に伴う税金費用の減少という前年同期の一時的要因がなくなったこと等により、13億円と17.1%減少しました。

配当金(単位:円)・配当性向(%)

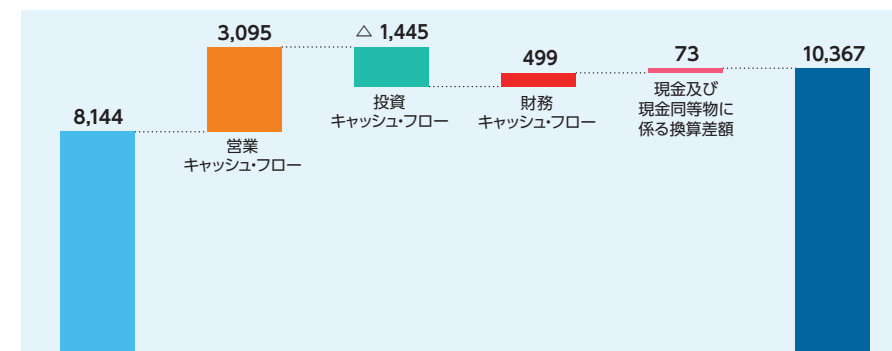


株主還元について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つと位置付け、収益力向上や企業基盤の強化のための内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を実施することを基本方針としております。当第2四半期は中間配当金を17.5円とし、年間配当金は35円の見通しです。

※2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。上記のグラフおよび文中では当該株式分割に伴う影響を加味し適宜修正を行った場合の配当状況を記載しております。

四半期 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



ポイント 7 キャッシュ・フロー

当期の営業C/Fは主に利益の増加により31億円の収入、投資C/FはCMO事業における設備投資等により14億円の支出、財務C/Fは金融機関からの借入金の増加および配当金の支払等により5億円の収入となりました。この結果、現金および現金同等物の期末残高は、104億円になりました。

期首残高(2012年10月1日)

四半期末残高(2013年3月31日)

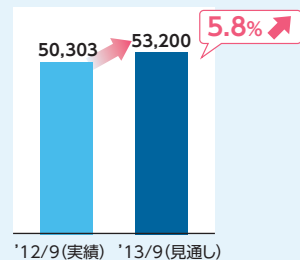
2013年9月期の見通し

医薬品業界におきましては、薬価改定や後発医薬品の普及促進などを通じた医療費抑制策の継続や主力製品の特許切れなどの厳しい事業環境にありますが、一方で、先発医薬品企業が後発医薬品事業を手がけたり、アジアをはじめとする新興国での事業拡大を目指す取り組みも進んでいます。また、製薬企業が開発品目の絞り込みによる効率化やパイプラインの導入を通じて迅速な新薬開発力を強

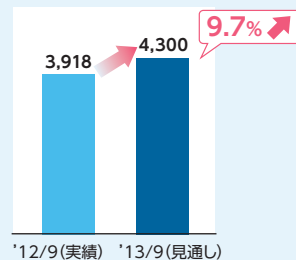
化する傾向も続いており、開発・製造・販売のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズが引き続き拡大するものと考えております。

このような状況の中で、当社グループは、独自の事業モデルであるPVCにおいて、各事業領域の基盤や個々のサービスの一層の強化を図るとともに、事業間シナジーをさらに追求して事業の収益性と生産性を高めてまいります。

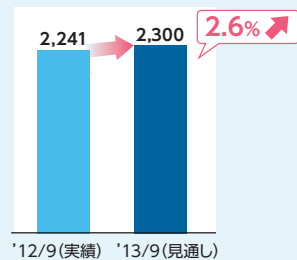
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



当期純利益(百万円)



当レポートに記載されている業績予想並びに将来予測などは、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。

株主の皆様の声

前回のシミックレポートアンケートにおいて、多くの株主様より貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。その一部を掲載いたします。

株主様からのご意見

新薬開発の時短に期待しています

社会貢献できる会社と思い、投資に夢がもてる

株主様からのご要望

新規施策へ打って出る社長の考えを詳しく知りたい

一般の人にも分かりやすい用語で説明してほしい

ユニークな企業だと思うので、地道な経営を心がけてほしい

今回の特集では、ヘルスケアについての対談とIPD事業について紹介させていただきましたが、いかがでしょうか。今後もさらなる成長を目指し、株主・投資家の皆様に当社をよりご理解いただけるよう努力してまいります。

株式の状況

2013年3月31日現在

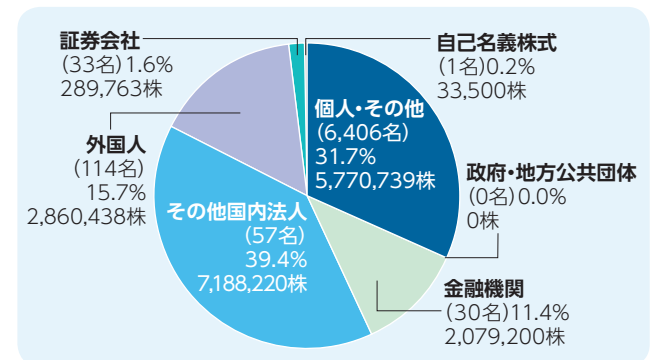
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	18,221,860株
株主数	6,641名

大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	6,368,200	34.94
中村和男	1,719,720	9.43
TAIYO PEARL FUND, L.P.	1,185,000	6.50
株式会社キースジャパン	719,440	3.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	639,300	3.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	387,000	2.12
シミックホールディングス従業員持株会	364,006	1.99
TAIYO BLUE PARTNERS, L.P.	295,500	1.62
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	271,630	1.49
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	190,000	1.04

(注)持株比率は、小数点以下3位を切り捨てております。

所有者別の構成比率(株式数比率)



会社概要

2013年3月31日現在

商号	シミックホールディングス株式会社
設立	1985年
資本金	3,087百万円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	4,489名(連結)
グループ会社(連結子会社)	シミック(株) シミックPMS(株) (株)シミックパイオリサーチセンター CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC(Beijing) Co.,Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC,PTE.LTD. シミックCMO(株) シミックCMO富山(株) (株)応用医学研究所 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation (株)シミックエムピーエスエス サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック (株)シミックBS (株)オーファンパシフィック
持分法適用会社	エムディエス・シーエムジー(株) GCP CMIC Clinplus Co., Ltd.

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(http://www.cmic-holdings.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

単元未満(1株から99株)株式をお持ちの株主様へ

買取または買増をご請求いただくことで、単元未満株式を売却または1単元にすることができます。詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式分：口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式分：上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



シミツクホールディングス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077
<http://www.cmic-holdings.co.jp/>

UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

ヘルス healthクリックの健康コラム

知ってる? 生活習慣病に効く温泉

温泉天国・日本。生活習慣病に効くといわれる温泉が数多くあります。もし温泉療法で治そうと思うのなら、温泉療法医や温泉療法認定専門医など専門知識のある医師に指導してもらいながら、長期間かけて湯治を行う必要があります。

生活習慣病気味の人は、どんな温泉に行く前にも必ず主治医に相談しましょう。



糖尿病に効く温泉はこちら

温泉名	備考メモ
元湯温泉 (栃木県那須塩原市)	アトピー・胃腸病などにも効果。 「塩原十一湯」のひとつ。
増富ラジウム温泉 (山梨県北杜市)	動脈硬化、高血圧、婦人病、便秘、 痛風などにも効果。国民保養温泉地。
上牧温泉 (群馬県利根郡みなかみ町)	肥満(飲用)、神経痛、リウマチ、胃腸 病などにも効果。近くには診療施設 のあるホテル、温泉病院も。

このほか、高血圧に効果があるといわれる温泉も!

この続きはhealthクリックのサイトで を検索

▶「生活習慣病に効く温泉リスト」をご覧ください

ヘルス healthクリック

「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご利用ください。



病院・薬・サプリメントの情報満載!

詳細はこちらへ <http://www.health.ne.jp>